



学校だより

逢う地

お・・思いやりのある学校
う・・美しさに満ちた学校
ち・・力を伸ばす学校

恕・克己・感謝の心を持ち、生き抜く力を身に付けた生徒の育成

R2. 4. 20. 第2号 相知中学校 校長室

新入生58名を迎え、第74回入学式を挙行了しました



4月9日(木)、第74回の入学式を挙行了いたしました。新型コロナウイルス感染防止のために、新入生、保護者、在校生代表1名、教職員のみとの式となりましたが、名前を呼ばれる新入生のはにかむ姿に初々しさを感じる式となりました。

中学校生活を充実させて将来幸せに生き抜く力を身に付けることができるよう、保護者、地域の皆様のご理解ご協力の下、教職員一同、全力でお子様の教育にあたっていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。本来、来賓の皆様をお招きしておりましたが、今年はそれができませんでしたので、紙面にて式辞等をお知らせします。

学校長の式辞

満開の桜のもと、本日、第74回唐津市立相知中学校の入学式を保護者の皆様にご臨席いただきます中、挙行できますことを心からお礼申し上げます。令和最初の入学生を迎えることができ、大変うれしく思っています。

本年度は本校に58名の新入生を迎えることになりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。皆さんが入学してくることを全校あげて心待ちにしていました。

さて、私は今年度、相知中学校に赴任し、「恕・克己・感謝の心を持ち、生き抜く力を身につけた生徒の育成」という学校教育目標を掲げました。この中で最も大切にしたいのが「恕」の心です。「恕」の心とは、思いやりの心です。具体的に言うと、「自分がして欲しくないことは人にしてはいけないということ」です。人は一人で生きていくことはできません。必ず周りの人と関わりをもって生きていくものです。そこで最も大切になるのが「思いやりの心」「恕」の心なのです。この「恕」の心をもって、学校生活を送ってください。

本校では特に人権・同和教育の視点で教育を推進しています。残念ながら世の中には未だに様々な差別が存在しており、いわれなき理由により、場合によっては大切な命を落とすほど苦しんでおられる方々がたくさんいらっしゃいます。本校では、あらゆる機会を捉え、生徒の心を耕し、差別に気づき、差別に怒りを覚え、差別を許さない心を培っていく所存です。予断や偏見、少ない情報だけで物事を判断するのではなく、正しく知り、周囲の人の思いを感じ取りながら判断する力をつける。そんな学びの場を作っていきます。ご家庭や地域と協力しながら、いじめや差別を許さない生徒の育成を目指すことをお約束します。

さて、新入生の皆さん、今は、希望とともに戸惑いや不安がいっぱいだと思います。勉強や普段の生活、部活動などで分からないことや困ったことがあったら、遠慮せずに周囲の人、同級生や先輩、先生方、そして家族や地域の人に聞いてください。頼ってください。皆が頼りあえる関係になると、そこには支えあえる温かい居場所が生まれます。そんな相知中学校であれば、個性の伸ばし、学力を向上させ、希望の進路を実現させることが、間違いなくできます。新入生の皆さんと在校生の皆さんの心を合わせてこの相知中学校を「恕」の心のあふれる温かい学校にしていってほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様方、お子様のご入学誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。本日より、皆様方のお子様をお預かりいたします。私たち職員一同、ワンチームで、お子様方の健やかな成長を支援していく所存です。学校と家庭と地域が手を取り合い、連携することで、お子様の将来幸せに生き抜く力を育んでいこうと考えています。今後とも、本校教育にご理解を頂き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。学校長の式辞といたします。

新入生「誓いの言葉」

新入生代表 峰 陽花

さわやかな風が吹き、色とりどりの花が咲き乱れる中、本日、令和2年4月9日、私達新入生58名は、相知中学校の生徒として、中学校生活をスタートすることになりました。新しい制服に身をつつみ、これからの生活への期待でいっぱいです。

これから始まる3年間、どんな勉強をするのだろう、どんなことが待っているのだろうと心が弾んでいます。

私たちは、これまでたくさんの方々に、見守られ、助けられながら成長してきました。そして、これからもどんどん成長していきます。そのためには、たくさんの方が、必要だと思います。

まず、一つ目に誰とでも協力することです。友達を大切にすることで、力を合わせ、共に励まし合い、助け合いながら、みんなが楽しく毎日を過ごせるようにしていきたいです

そして二つ目に何事にも立ち向かい、あきらめずに続けていく力です。中学校ではこれまで以上に勉強が専門的で難しくなったり、部活動で新しいことに挑戦したりするでしょう。苦手なことでもあきらめず、最後まで投げ出さずに頑張り、この三年間で自分たちの力をどんどん伸ばしていきたいです。

最後に三つ目は、感謝の気持ちを忘れないことです。これまでも、これからも、自分たちの生活や成長を、支えてくださっている、家族や友達、先生方、地域の方々などすべての糧への感謝の気持ちを忘れることなく、夢や希望に向かって進んでいきたいです。

これらを学んでいく中で、それでも、くじけてしまいそうな時や、解決できない課題が出てくることもあるでしょう。その時は校長先生はじめ、先生方、先輩方どうか、力をお貸しください。

協力すること、あきらめずに続けていくこと、感謝の気持ちを持つこと、この三つを大切にこれからの中学校生活をよりよくしていくことを誓います。

歓迎の言葉

在校生代表 富田 美晴

天徳の森にも暖かい風が吹き、桜の花びらが新しい門出を祝う春がやってきました。

本日、中学生として新しい一歩を踏み出される新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。ようこそ、相知中学校へ。新入生の皆さんが入学してくるのを在校生一同、心から楽しみにしていました。

中学生となり、この相知中学校へ入学した今、どのような気持ちでしょうか。きっと、これから始まる新しい中学校生活への期待と不安でいっぱいだと思います。

今、皆さんが心配に思っていること気になっていることの一つに、勉強があるのではないのでしょうか。中学生になると、教科数が増え、各教科ごとに担当の先生が変わったり

と、小学校から、変わることも多く、ちゃんとやっつけられるだろうかと不安な気持ちを抱いている人もいます。しかし、心配はいりません。わからない所があれば、先生方が優しく丁寧に教えてくださいます。また、小学校に比べると学習する内容も難しいものになりますが、自分なりに課題を克服していくと、とてもやりがいを感じます。

そして、中学生になって、皆さんが楽しみにしている活動の一つとして、部活動があると思います。相知中の部活動は、どの部活動もそれぞれに目標を持ち、日々の練習に励んでいます。仲間とともに一つの目標を達成するため、頑張ることの楽しさを味わうことができます。また、部活動は自分が中学校生活を送っていく上で、色々な面で、大きく成長できる場所となります。どの部活動も優しく、頼りになる先輩ばかりです。ぜひ仮入部に行ってみてください。自分にぴったりの部活動が見つかるはずです。

他にも、体育大会、文化発表会等、大きな行事があります。体育大会の応援合戦やマスゲームでは、先輩方が考えた振り付けを、覚えるのは大変ですが、本番で心をついにし、最高の演技ができた時は、大きな感動を味わうことができます。文化発表会では、合唱コンクールがあり、クラスの絆を、より高めることができます。クラス全員で創り上げる歌声は、忘れられない思い出になります。楽しみにしておいてください。

今から始まる中学校生活、時には失敗をすることもありますが、諦めず何事にもチャレンジしてください。そこで得た経験が自分の糧になり、これからの中学校生活をより豊かにしてくれるはずです。

自信がなく、立ち止まってしまったときは、友達や私達先輩とお互いに支えあいながら、乗り越えていきましょう。

この相知中学校の良き伝統を受け継ぎ、多くの学び、お互いを思いやり、元気な挨拶の音が響き合う学校を一緒に創っていきましょう。

最後になりましたが、これから3年間、皆さんが相知中学校の一員として、誇りを持ち、充実した学校生活を送れることを願い、歓迎の言葉といたします。